色染物質会のプロフィール

会長：　佐藤忠孝　（Ｓ３４年卒）
副会長：松岡謙一郎（Ｓ３５年卒）
副会長：高木恒男　（Ｓ４７年卒）

当会は、前身の「松ヶ崎色染会」を継承してＨ２２年１０月に発足しました。「松ヶ崎色染会」は色染工芸学科卒業生全員および物質工学科卒業生の一部から構成されており会員数約１３００名の大所帯で、運営経費や会費徴収、その他の面で問題が多いため一旦本会を収束し、希望者入会制にて新たに発足したとの経緯であります。このため現会員の年齢幅は前会と同様の広がりを持っていますが、会員数は２００余名と小規模になり、現役から退かれた卒業生が活動の中心になっています。小さく生まれ変わった当会の設立時の総会で来賓の江島学長から「*Small Is Beautiful*。血のめぐりの悪い大きな集団から、みずみずしい新しい血が通う暖かい組織へと成長されることを期待します」とのはなむけの言葉をいただいたことは会員一同の印象に残っています。

毎年６月の総会、懇親会、さらに散策会（過去４回）、新年会、ゴルフ会（春秋の年２回）等のイベントを開催、年々参加者も増え内容も充実したものになってきております。

またホームページ（http://www.matugasaki.com/）を開設し会員各位からの投稿文、各学年の「クラス会たより」等を逐一掲載しております。今回のＫＩＴ同窓会ＨＰ新設に際し当会員の投稿文から「万葉集と染色加工」を寄稿致しました。

散策会はＨ２４年１０月「田原の里・太安萬侶の墓を訪ねる」、Ｈ２５年４月「京都岡崎の植治（七代目小川治兵衛）の庭探訪」、同年１１月「仁徳陵や中世の面影を残す堺を歩く」、本年３月には大阪城内の紅梅、白梅の咲き乱れる梅林を散策し「難波津に咲くやこの花冬ごもり今は春べと咲くやこの花」の古歌の心を満喫しました。

山の辺の道 散策 H24/10

大阪城梅林 散策 H27/3